

平成28年3月18日(金)

## 石和地区 地域福祉推進委員会

笛吹市社会福祉協議会  
地域福祉課 石和地域事務所



1

## これまでの地域福祉推進委員会の 振り返り

- H26年 小石和地区で懇談会実施  
H27年 ①小石和活性委員会活動紹介  
②モデル地区の選定

### 【今後の地域福祉推進委員会】

石和町内のさまざまな活動の情報を収集し、  
発信していこう

2

## 本日の内容

【石和町内で行われている様々な住民活動をご紹介します】

- ◎小石和活性委員会（小石和区）
  - ・見守りパトロール隊
  - ・休耕田を活用して世代を越えた野菜づくり
  - ・花植え活動
- ◎八幡神社でラジオ体操（西町区）
- ◎いきいきふれあいサロンひまわり（四日市場区）

3

## 小石和活性委員会 見守りパトロール隊

- ▶ 毎朝登校時10人ほどで通学路に立ち、児童を見守っています
- ▶ 現在隊員は30名 シフトを組んで活動しています
- ▶ 見守り箇所は約10箇所
- ▶ 下校時も工夫して見守りしています

4

## 蛭見橋周辺



「小石和区」のロゴが入った  
ベストが目印！



5

## 隊員みんなで子どもの安全を守ります



この時期は「寒いから風邪をひかないようにね」  
と声をかけあいます

## 小石和区見守りパトロール隊 【こんな変化がありました】

### ☆ 地域の方の反応が変わりました

「ご苦労さま」「毎日大変ですね、頑張ってください」など声を  
いただけるようになりました

### ☆ 隊員が増えました

隊員は当初10名でしたが、30名に増えました！

隊員が増えたことで1人当たりの出動回数が減り、  
負担感の軽減につながりました。

7

## パトロール隊の皆さんにインタビューしたら こんな変化が見えてきました

- ▶ 生活のベースの一部（生きがい）
- ▶ 子どもとふれあえる
- ▶ 気持ちがいい
- ▶ 子どもはかわい
- ▶ 登校時以外も道で会うと挨拶をするようになった
- ▶ ハイタッチが出来るようになった

**(変化)パトロール隊(住民)と子どもの交流が  
生まれるようになった！**

8

## PTAの皆さんにインタビューしたら こんな変化が見えてきました

- ▶ 以前はPTAとして一人で立っていて不安だったが、今はとても助かっている
- ▶ 地域の方に見守っていただいているのがありがたい
- ▶ 地域の方と子どものことで会話をすることが増えました

- (変化)①地域住民のつながりが出来た！**  
**②学校とのつながりが出来た！**  
**③地域で子どもを見守る目が増えた！**

## 子どもさんにインタビューしたら こんなことが見えてきました

- ▶ おじさん、おばさんに会えるのが楽しみ
- ▶ 普段でも自然に挨拶が出来るようになりました

### (見えてきたこと)

- ①大人だけでなく、子どもにとっても交流が楽しみになっている！
- ②登校時(パトロール時)以外の交流にもつながっている！

## (パトロール隊) 今後はこうしていきたい

- ▶ 下校時の見守りを増やしたい
- ▶ 顔の見えるつながりが大切だと思った。広げていきたい。
- ▶ 自転車でのパトロールも行いたい
- ▶ 夏休み等のパトロールを視野に入れていきたい



## (パトロール隊) 考察

- ▶ 子ども達の安心・安全の確保  
(地域の人達が見守っている)
- ▶ PTA・学校・地域住民の間で、ふだんの生活でも挨拶が出来る関係が出来た
- ▶ PTA(個)の活動が地域(パトロール隊)に広がった



## 小石和区活性委員会 小石和農園 (世代を越えた野菜づくり)

- ▶ 休耕田を使い、子どもからお年寄りまで様々な世代で野菜づくりに取り組んでいます。
- ▶ 春にはじゃがいも、秋にはサツマイモの種を植えます。
- ▶ 収穫も行います。



13



子どもさん達も地域の皆さんに教わってがんばりました！

## 参加者の声 (こんな変化が見えました！)

- ▶ 農作業が初体験できた
- ▶ ケーキづくりもしましたよ！皆でおいしく食べました
- ▶ 参加者同士のコミュニケーションが取れるようになった

**(変化)野菜づくりに参加することで、  
新たな人との交流ができた！**

15

## (小石和農園) 今後はこうしていきたい

- ▶ 回覧や放送をマメにして参加者を増やしたい
- ▶ 収穫後、調理をして試食会をもっと増やしていきたい



## (小石和農園) 考察

同じ体験をして、同じ釜の飯を食べることで、  
三世代の交流が出来た



17

## 小石和活性委員会 花植え活動

▶ たんぼぼの会が中心に行っています



18

## 参加者の声

(こんな変化が見えました！)

- ▶ いつもきれいな花があって気持ちが良い
- ▶ 近所の方も水やりに参加してくれるようになった
- ▶ たんぼぼの会以外の方々と会話が增えた

**(変化)いままでのつながり(たんぼぼの会)を越えた  
住民の交流が出来た！**

19

## (花植え活動) 今後はこうしていきたい

- ▶ 夏休み等は子ども達も巻き込んでいきたい



20

## 小石和活性委員会の活動を通して 見えてきたこと

### 【活動が続いている理由】

- ①核となる人（キーパーソン）がいる
- ②区の組織が応援している
- ③楽しい
  - ・自分にとってメリットがある
  - ・健康
  - ・人との交流
- ④地域の人の理解、協力がある

21

## 八幡神社ラジオ体操（西町区）

- ▶ おとし7月中旬に子ども達が始めたのがきっかけでした
- ▶ 子ども達のラジオ体操が終わっても、大人たちがラジオを持参し、今でも開催されています
- ▶ 小雨ぐらいなら気にせず、毎日元気に行っています
- ▶ 1, 2月は寒く血圧上昇が心配なのでお休み。3月から再開しました 「また、ぼつぼつ会うじゃん」

22

## 八幡神社(西町) 早朝ラジオ体操

澄んだ空気の中、みなさん思い切り体をのびします



23

## 参加者にインタビュー (ラジオ体操の効果を見つけました！)

- ▶ 6人くらいで始めたが、今は多いと20名くらい参加します
- ▶ 西町区以外の方も参加しています

**(効果)西町区と地域を限定せず、「ラジオ体操」という共通の楽しみをもつ人のつながり(集まり)ができています！**

- ▶ 体操で知り合った仲間とバス旅行も企画しました。この体操が縁で友達が増えました。

**(効果)バス旅行にまで発展するほどの仲間のつながりができた！**

- ▶ 参加することで早起きが出来て1日の規則正しいリズムが作れています
- ▶ ラジオ体操を続けて体力向上につながった。気分が明るくなった。血圧の調子がよくなった！

**(効果)ラジオ体操が健康維持につながっている！**

24

## (ラジオ体操) 考察

ラジオ体操を目的としたゆるやかな集まりや、気の合う仲間グループの活動でも人との交流ができています。

(石和町の特徴)



25

## いきいきふれあいサロンひまわり (四日市場区)

- ▶ やってみるじやんの後のサロンとは別に週1回開催しています(毎週月曜日)

- ▶ 地域の施設入居者も参加しています

きっかけはサンライフ寿(有料老人ホーム)入居者の申し出「石和地域の人と交流したい。地域のサロンに入れてほしい」。社協が民生委員さんを通してサロン代表者に相談。「受け入れましょう!」とのお返事で、参加することになりました。

\*特徴\*

やってみるじやんとは別のサロン

※石和では珍しいのです!

26

現在、サンライフ寿からいらっしゃっている参加者は2名



## 参加者にインタビュー (サロン活動の効果を見つけました!)

- ▶ 顔見知りになったことによって万が一のときの助け合いのきっかけになると良いと思います
- ▶ いつも来ている人が来ないと心配(3回来ないと気になる)
- ▶ ひきこもり、閉じこもり予防になっている
- ▶ 施設でも同じ四日市場なのだから、皆で楽しめばいいと思う

(効果)・皆で楽しむ関係が、「助け合う関係」につながる

・閉じこもり予防につながっている

・「施設を利用している人も同じ地域住民」という思いも出てきている

【一方でこんな意見も・・・】

- ▶ メニューを決めるのが難しい
- ▶ サンライフ寿の人を受け入れる立場の気持ちも、受け入れがたい立場の気持ちもわかる。みんなの意見をどう調和させればよいのか・・・

住民の自主的な取り組みだからこそこの悩みです。

皆さんで試行錯誤しながら取り組んでいます。

28

## 町内の様々な住民活動を踏まえて

【インタビューで聞いた声で共通したキーワード】

(地域づくりの視点から・・・)

- ・楽しく、無理なく活動
- ・健康につながる
- ・生きがいになっている
- ・交流が出来る(人とつながる・見守り)
- ・閉じこもり防止(外出・社会参加)
- ・地域の人達からの理解の広がり
- ・地域の中で、それぞれがもつ役割を見つける

29

## まとめ

- ▶ 石和町は地縁・血縁によるつながりがある一方で、そうではないつながり(趣味縁・健康縁・楽縁など)も存在するという特徴があります。

**いろいろあってみんないい**

- ▶ 地域づくりの中には「交流」「つながり」がキーワードとして見えてきます。

- ▶ 人のつながりについて、

- ①「うちの地域ではこんなことやっているよ！」
- ②「こういうことであれば、自分の地域でもできそう」
- ③「こんなことをやってみたい」

これらについて一緒に考えませんか？

30